

令和7年度三宅町ローカルスタートアップ支援事業委託 質問書 回答

NO.	質問事項	内容	回答
1	仕様書 3.業務内容 (1)起業スクールの開催 A. 対話会	対話会は“心理的な準備段階”、勉強会は“実践に向けた準備段階”といったように、段階的な支援として構成されているという認識で差し支えないか。	お見込みのとおりです。
2	仕様書 3.業務内容 (1)起業スクールの開催 A. 対話会、B. 勉強会	対話会と勉強会の参加者層には重なりも出てくることが想定されるため、対話会にお招きしたゲストの方に、勉強会で講師もお願いするような形も検討しているが、そのような兼ね方について支障がないか。	支障ありません。
3	仕様書 3.業務内容 (1)起業スクールの開催 A. 対話会、B. 勉強会	両プログラムの運営・募集についても、別々に行うべきか、それとも連続性をもたせた柔軟な設計が可能か。	本事業では、潜在的な起業候補人材の発掘のみならず、起業する人をまわりが応援する機運を高めることも目的としているため、その実現に向けた柔軟な設計が可能です。効果的な提案をお願いします。
4	仕様書 3.業務内容 (1)起業スクールの開催 (2)空き家活用プログラムの開催	実際に地域で起業やまちづくりに取り組んでいる他地域の事例を学ぶ機会として、希望者向けに視察プログラムを検討している。交通費や宿泊費、プログラム参加費などは自己負担とし、参加もあくまで任意とする形を想定しているが、このような形での実施は本事業の中で支障がないか。	受講者のニーズを踏まえた上で、先進地視察を受講者費用負担で募ることについて支障はありませんが、それぞれの講座開催地は三宅町内を想定しています。
5	仕様書 3.業務内容 (1)起業スクールの開催 (2)空き家活用プログラムの開催	起業プログラムと空き家活用プログラムについて、一部の内容を同時受講や日程を重複させる運営について本事業の趣旨や運営上問題ないか。	効果的なプログラムとするために、一部合同開催や日程の重複させることは運営上問題ありません。
6	仕様書 3.業務内容 (3)町内中小企業向け外部人材活用支援プログラムの開催	町内中小企業向け 外部人材活用支援プログラムの成果物として求められる内容について、参加者の声の収集や、今後の支援方針の検討に資する示唆の整理、あわせて各参加者の現状や課題感の“棚卸し”といった内容のほか、より具体的な業務整理結果や受入準備の計画といったアウトプットまでを求められているのか。	本プログラム内では、外部人材活用への意識醸成とその仕組みづくりを支援し、自社の業務整理や人材受け入れ準備といった基礎知識の習得と実践的なワークを想定しているため、必ずしも個別の具体的な業務整理結果や受け入れ準備計画を求めるものではありません。
7	仕様書 3.業務内容 全プログラム対象	参加者の属性に関して、募集対象は「三宅町に住民票を有する方」に限るものなのか、それとも、町民を基本としつつ、参加意欲や将来の起業・定住の意向などをふまえて、周辺市町に在住・在勤する方の参加も可能か。実際には、将来的に三宅町での起業や居住を検討している町外在住者の参加希望も想定されるため、柔軟な対応が可能かどうか。	受講人数に限りがある場合は三宅町住民を優先としたうえで、お見込みの柔軟な対応は可能です。